

## 植田正治写真美術館における文化振興事業の取り組み

平成7年9月に開館した当館は、令和2年に25周年を迎えました。「UEDA-Cho（植田調）」の語源である世界的写真家植田正治の顕彰を目的として開設された施設で、本人から寄贈された約12,000点の作品を収蔵、常設展示し、植田正治の演出写真とプロフィールを紹介しています。

また、当館では植田正治の精神を継承し、写真愛好家や地元の小中学生、そして周辺地域の親子等を対象に、様々な文化振興事業を実施しており、その取り組みについて紹介します。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度に中止した事業は令和元年度の内容を記載しています。

### (写真芸術展示)

会 期	展 覧 会
令和元年度／令和2年度 展覧会	
<b>【第3回展】</b> 令和2年3月1日(日) ～令和2年7月12日(日) 開館日数：70日 入館者数：2,355人	■A～C室 空想の羽—植田正治の静物 ■D室 「写真するボク」
令和2年度 展覧会	
<b>【第1回展】</b> 令和2年7月18日(土)～11月30日(月) 開館日数：118日 入館者数：11,426人	■A～C室 異国にて—植田正治と海外 ■D室 7月18日(土)～9月14日(月) 「写真するボク」 9月16日(水)～9月22日(火・祝) サークル スイング写真展 9月24日(木)～10月5日(月) 写真美術館友の会写真展 10月7日(水)～10月19日(月) ペンタックスiコファミリー山陰支部写真展 10月21日(水)～10月26日(月) 鳥取県高校生写真展 10月28日(水)～11月30日(月) 第21回植田正治写真美術館フォトコンテスト 伯耆町写真展

### (文化振興事業)

#### 1. 第21回植田正治写真美術館フォトコンテスト

植田正治写真美術館フォトコンテストは植田正治の精神を継承し、自由な感性や独自の視点で撮影された作品を募集し、写真芸術文化の振興を図った。

募集：7月18日(土)～9月22日(火・祝) 審査：9月29日(火)

審査員：織作峰子氏(写真家、大阪芸術大学写真学科学科長)、

川本貢功氏(写真家、二科会写真部名誉会員)、平間至(写真家)

入賞・入選作品展示：10月28日(水)～11月30日(月)

表彰式：新型コロナウイルス感染症対策のため中止

応募点数：一般の部519点(252人) 18歳以下の部：131点(108人)





表彰式での講評の様子（写真は令和元年度）

## 2. フォトスクール

写真美術館を活用してフォトスクールを開催し、郷土が生んだ写真家 植田正治の功績や作品への理解を深めてもらうとともに写真の楽しさを知ってもらう。

プログラム：作品鑑賞、デジタルカメラの基礎講座、撮影会、撮影会作品の講評

対象：小中学生などの30人以内の学校、グループなど

講師：地元写真愛好家 参加者数：6団体 6回 88人



撮影会



講評

## 3. ワークショップ（令和元年度）

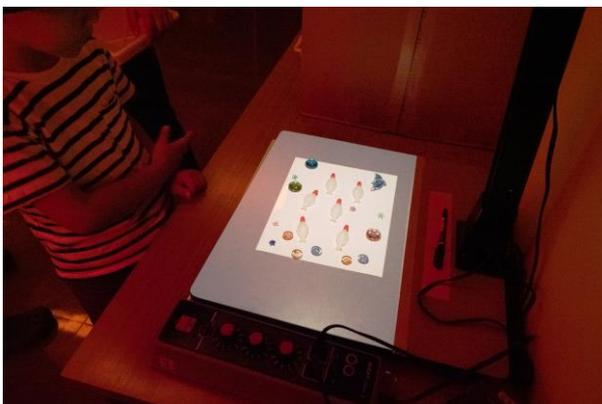
写真に関するテーマでワークショップを開催し、参加者の写真の楽しさを体感してもらう。

テーマ：カメラを使わずに、写真が出来る？

内容：二人一組になって、印画紙の上に直接物を置き、露光させて写真をつくる。

開催日：8月3・4日 参加者：46人

講師：河田憲政氏（写真家、京都造形芸術大学非常勤講師）



フォトグラム



現像